



平成 24 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 三菱食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 井 上 彪
(コード：7451、東証第一部)
問合せ先 財務経理本部 IR室長 桜井 信彦
(TEL. 03-3767-5204)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2015 年度を最終年度とする 4 ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

以 上

三菱食品株式会社
中期経営計画2015

2012年5月7日

中期経営計画2015の環境認識と位置付け



【中期経営計画2015】
「バリューチェーン・コーディネーター」として、
この使命実現への第一歩を踏み出す

この困難なチャレンジに取引先と共に取り組み、リードできるのが三菱食品

相反・複雑化する課題に取り組み、
食流通の確かさと効率を高めながら、食文化の豊かさと多様なライフスタイルを支える
「新たな使命」が出現している

食をめぐる大きな環境変化
食業界・食市場の構造的問題を解決する必要性

- ・食料資源の世界的な需給バランスの変化
- ・ライフスタイル・供給手段多様化への対応
- ・効率的な流通システムへの更なる要求

相反
複雑化

食に対する不変で本質的な欲求
食の豊かさ・楽しさへの対応

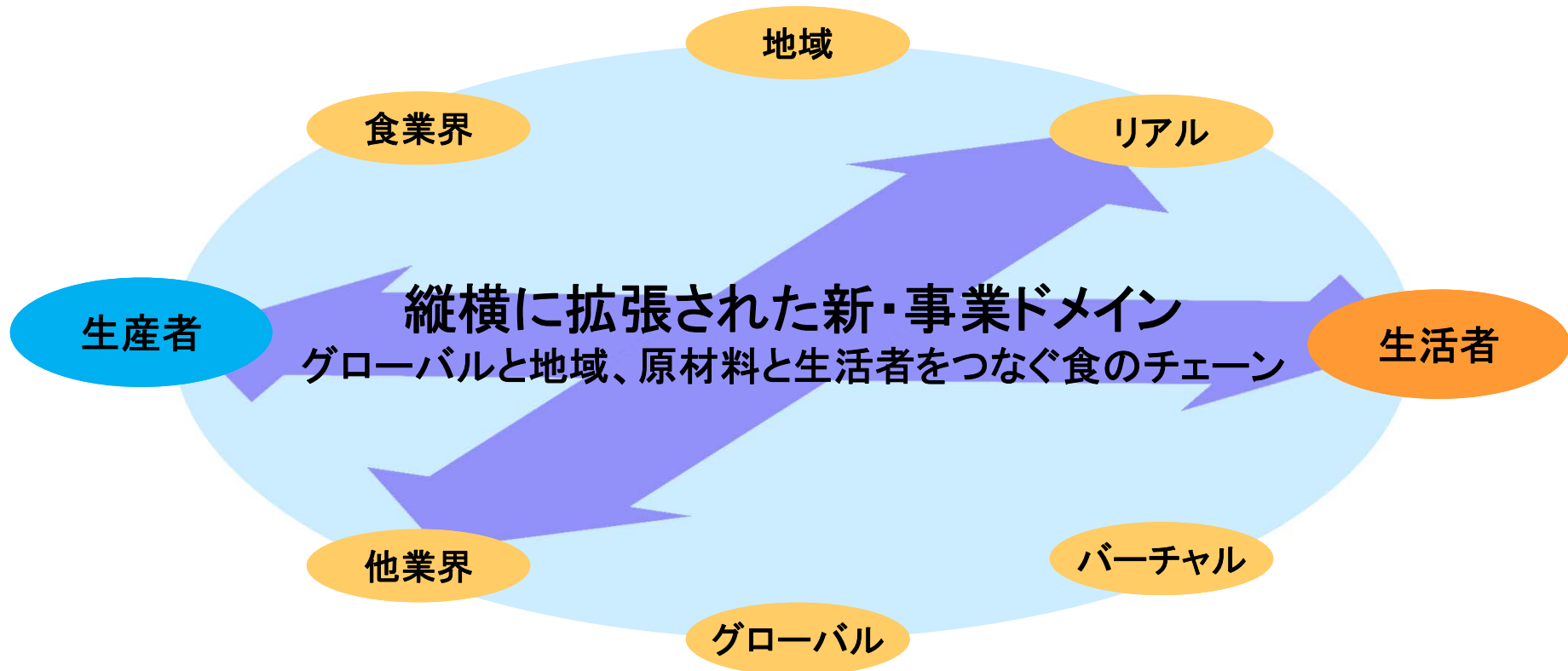
- ・日本の文化的・地勢的な背景
- ・天災時対応も含めた安定的な供給体制への期待
- ・安全・安心、品質へのこだわり

バリューチェーン・コーディネーターの姿

バリューチェーン・コーディネーター

バリューチェーン・コーディネーターとは、業種・業態・カテゴリー・温度帯・地域等の領域を縦横に連結・再編成し、食流通の構造革新を主導する戦略と変革のコンセプト

【事業ドメイン拡大のイメージ】



基本構成

基本方針

食流通の確かさと効率性を両立させ、食文化の豊かさと多様なライフスタイルを支える

ビジョン

取引先の課題解決を通して食のバリューチェーンを構築し、
流通の「最適解」を提供する企業へ進化を遂げる
『売上高3兆円、経常利益300億円』

流通の「最適解」を提供する中核企業

進化戦略
(業態変革)

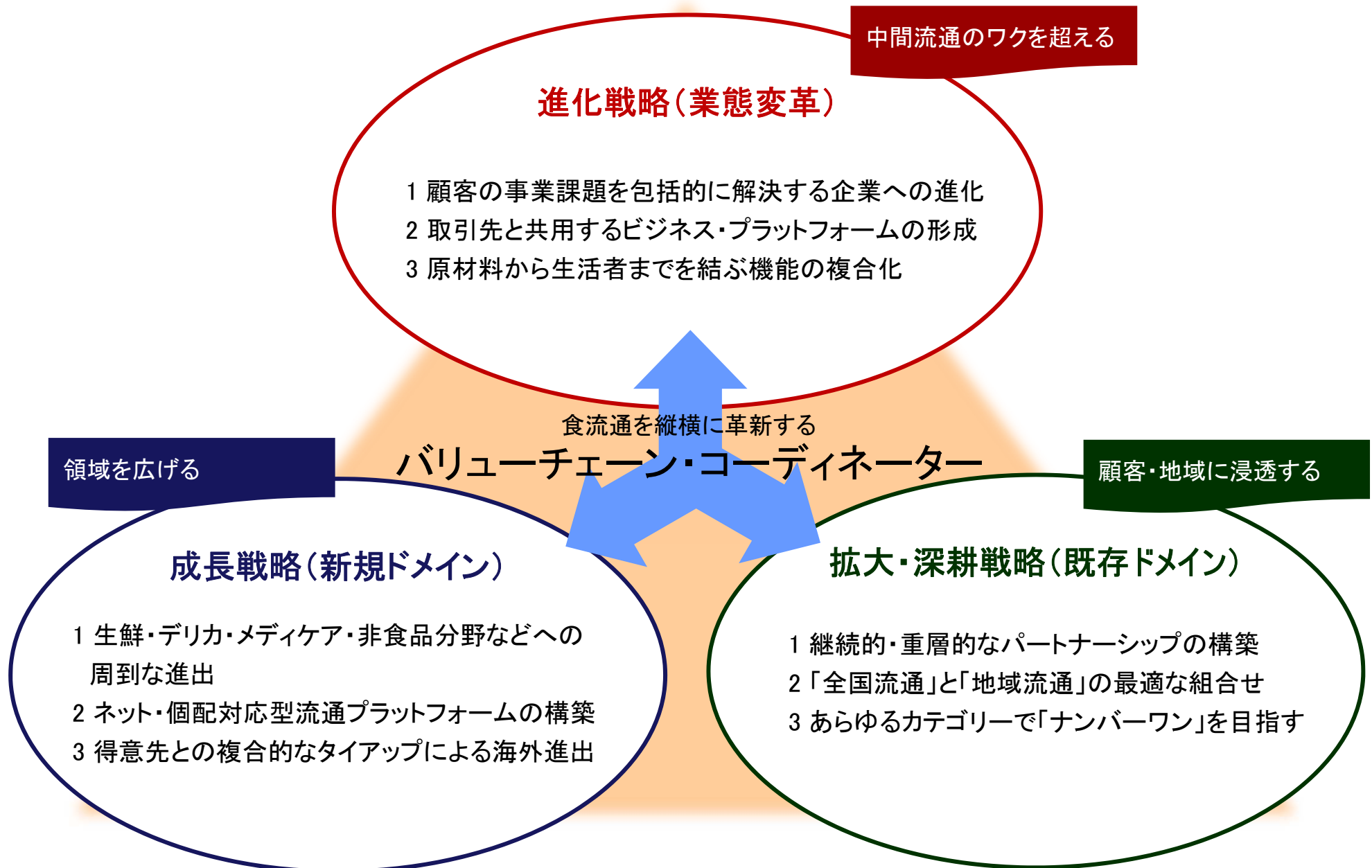
食流通を縦横に革新する
バリューチェーン・コーディネーター

成長戦略
(新規ドメイン)

拡大・深耕戦略
(既存ドメイン)

経営基盤の強化

戦略骨子



経営基盤の強化

1 戦略を迅速且つ確実に実行する組織の整備

- 取引先からの多様なニーズや課題解決に総合的・一元的に応える体制の整備
- 顧客支援機能の専門性高度化
- 組織のフラット化による迅速な意思決定

2 徹底的な効率化の追求と戦略的な経営資源の配分

- 既存事業領域の更なる効率化・ローコスト化の推進
- 成長分野への経営資源(ヒト・モノ・カネ)の重点的な投入
- 成長を担う人材の育成・強化

3 新たな企業文化の創造と透明性の高い経営の実現

- 「三綱領」の精神に基づく新たな企業風土の醸成
- コンプライアンス体制の更なる強化・BCPの整備
- 経営管理・リスクマネジメント体制の強化

定量目標

	2011年度	2015年度
	実績	目標
売上高	2兆1,519億円	3兆円
経常利益	198億円	300億円
当期純利益	123億円	170億円
配当性向	20%以上	

セグメント別売上高目標

	2011年度	2015年度
	実績	目標
加工食品	7,564億円	1兆円 + α
低温食品	7,790億円	1兆円 + α
酒類	4,181億円	5000億円 + α
菓子	1,963億円	3000億円 + α

投資計画・配当方針

投資計画	
基盤強化領域・新規成長領域における積極的な投資(含むM&A)を実行し、『拡大・深耕戦略』『成長戦略』『進化戦略』を具現化する	
累積投資額	400億円
重点投資分野	基盤強化領域 : 物流拠点整備、基幹システム 等 新規成長領域 : 海外事業、低温事業、ネット事業 等

配当方針	
持続的成長に必要な内部留保(投資原資)と株主還元とのバランスを考慮し、安定的な配当の維持を目指す	
配当性向	20%以上を目指す

将来見通しに関する注意事項

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。